

平成21年度第3回桑名市地域医療対策連絡協議会意見まとめ

「医療と福祉、介護との連携」	<ul style="list-style-type: none"> ・急性期医療と慢性期医療、リハビリ、介護といったところまでのつながりがスムーズに行っていないのではないかという問題意識のもとに提起されている課題であろうと思う。 ・在宅療養支援診療所で聞いたところ、急性期の医療機関がケアの方針を示さずに突然在宅の方に回してくるので、急性期の初期の段階から、その後の予後とかがどうなるかというところを見越して連携をとってほしいという希望があった。 ・桑名市においても、認知症を中心として、様々な症例検討会があるが、今後、他の疾患にも広げてシステムづくりにつなげていく必要があると思う。 ・医療、福祉、介護の連携のイメージとしては、尾道方式のようなクリティカルパスを使ったものと聞いているが、今は医療機関、福祉機関それぞれがもう1歩踏み出せていないというのが現状だと思う。 ・地域医療の中で中核病院的な存在ができれば、そこを中心としてフォーマットのものを一つにすることができるのではないかというイメージはある。 ・ケアマネジャーの側からすると、まだまだ医療の敷居が高いという意識があるが、昨年あたりから医師会の医師と在宅医療連携ということで研修会と一緒に参加したりということもあり、少しずつ話しやすい環境はできつつある。 ・医療と介護のパイプ役としては、看護師の役割が大きいので、この協議会の委員に入ってもらうべきである。 ・病院側の立場からすると退院が可能になっても、なかなか介護施設へ行けないとか、在宅可能な人がいてもキャパが足りない。連携は非常に大切だが、それプラス受け皿がどの程度なのかという議論をしてもらえるとありがたい。 ・医療側からすると介護側の施設によって受入れの基準が異なるのが困る。 ・例えば吸痰の必要な方を在宅で見るのは、相当家族に負担が大きいので、看護職が担っていかねばいけないと思うが、家庭の中へ入っていくことでもあり難しいところがある。 ・医師会でも在宅診療支援診療所を含め、当初はもっとできるのではないかと思っていたが、後方ベッドを確保するという必要もあると思う。 ・桑名で在宅診療支援診療所としては10人位登録されているが、現実的に保険の摘要をしようと思うと非常に難しく、実際に在宅診療支援診療所として機能しているのは限られている。
「歯科に関すること」	<ul style="list-style-type: none"> ・桑名地区の歯科医院を対象に訪問診療できるかどうかをピックアップし、それをケアマネジャーの団体とか地域包括支援センターを通じて出させてもらった。本年度を目途に充実していきたい。 ・歯周病とその他の全身疾患との関連ということに関して、歯科の出前講座のようなものをしていこうと今、保健所と協議している。 ・幼児、学童期は比較的うまくいっており、高齢者の訪問診療、口腔ケアもやっているが、特定健診にかかわるような壮年期の方々に対してどのようなことができるかということも来年度やっていきたい。 ・対象は150人と少ないがチャレンジ桑名健診ということで生活習慣病の対策を考えており、その中で歯周病も含めた健診の啓発事業とかケアも取り組んでいきたい。